

若手農林漁業者からの提案

日本から世界へ発信する

持続可能な農と食

チャルジョウ西会津農場・ダーナビレッジ

代表

小川美農里

1, 生業と暮らし

- ・福島県西会津町在住
- ・体験型宿泊施設Dana Village/
チャルジョウ西会津農場の運営
- ・予防医療・健康増進を実践する
看護師、保健師
- ・ホリスティックヘルス（いのちまる
ごとの健康）塾インストラクター
- ・子どもの五感を養う一般社団法人
「福のもと」を運営
- ・国内外から集まるメンバーと共同
生活
- ・4歳、4ヶ月 2児の母



Dana = ギフト、贈りもの



すべての人達が持つギフトを贈り合い
いのちが輝く場所を 福島につくりたい
2016年に元分校だった校舎を使って設立
会津弁＝んだなぁ、共感、相互理解

ダーナビレッジの3本柱と目指すもの

有機農業の実践と体験

×

健康回復食

ヴィーガン食による食養

×

ヨガ,セラピーなどの
ヒーリング

=

本来の自分らしさを
取り戻そう



ホリスティック=いのちまるごと
健康になろう！

有機農業の実践と体験の提供

栽培内容と面積

- ・ 水稲 32a
- ・ メロンやミニトマトを中心とした無灌水ハウス栽培59a<チャルジョウ西会津農場として有機認証取得>
- ・ その他（雑穀、葉野菜、ハーブなど80a）

共通していること

- ・ 農薬、化学肥料、慣行の動物性堆肥は一切使用なし
- ・ 種子は自家育種中心
在来種・有機種子も使用



2, 農林水産業を次世代につなぐために

課題 Problems	なぜ Why	誰が Who	何を What	どのように How
有機農産物の販路拡大が容易ではない	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫期が集中する ・価格競争 ・マーケティングの知識不足 	国、自治体	地元の学校や企業と連携した買取強化支援	価格差を考慮した費用の負担 栄養士への研修 支援企業のサポート
	<ul style="list-style-type: none"> ・規格外が多い＝規格が厳しい 	消費者	安全性の理解 形や傷のこだわりを変える	正しい情報伝達
持続可能な農業指導者不足	<ul style="list-style-type: none"> ・有機農業をしたくても教えてくれる人がいない 	国、県	指導者に対する研修費用の負担軽減（農の雇用事業を柔軟・簡単に）	
	<ul style="list-style-type: none"> ・情報不足 	民間	ネットワークづくり	企業との連携やクラウドファンディング？
画一的な支援金	<ul style="list-style-type: none"> ・有機での新規就農は「成功例の前例がない」？ 	農水省	農業次世代人材投資基金	経営規模の有無にとらわれず、柔軟に給付できるようにする 研修終了後のサポート
収入が不安定になりやすい	<ul style="list-style-type: none"> ・天候や市場の影響を受けやすい 	国	一次産業はインフラとして一定の保障をする	ベーシックインカムのような仕組みの導入を
耕作放棄地の増加	<ul style="list-style-type: none"> ・獣害 ・持ち主(地域社会)の期待値が高い 	国、地方自治体、地域社会	森の整備 防御策への柔軟な助成 地域住民の意識改革	森の整備ができる個人・団体の育成に対する補助 十分な検証と評価 住民への説明と合意形成

3,日本から世界に向けて メッセージ

メッセージ	理由	方法
“Mottainai”という言葉 を再流行させよう	食料分配の不公平性による飢餓、貧困 拡大と取り戻せない環境破壊	国際機関からの発信 消費者意識の改革 地域内での資源流通を促進す る技術開発と普及
お金の流れを変えよう	「儲かる」という理由で食料が不公平に 分配されている 家畜の餌を育てるため にアマゾンの森は消え 売れるから大量 に魚が獲られ、棄てられサンゴは失われ 現地の人は飢えている	国際的な規制 消費者の意識改革 教育の充実
国境を越えてつながろう	現在の状況は一国だけでは変えられない 国際的に連帯を強化することで、大規模 でスピード感のある規制の実現を可能に する	横断的な調査研究 教育費への予算を増やす 地域の智慧を共有 国際的なネットワークでつな がる